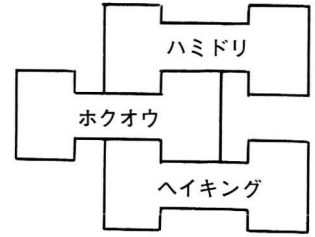


牧草と園藝





雪印育成3H品種



雪印育成3H品種とは

アカクロバ・ハミドリ
Hamidori
チモシー・ホクオウ
Hokuo
オーチャード・ヘイキング
Hayking

出穂開花が同一時期
→刈り取り時期が一致。
→混播適応性が大きい。



アカクロバ

Hamidori

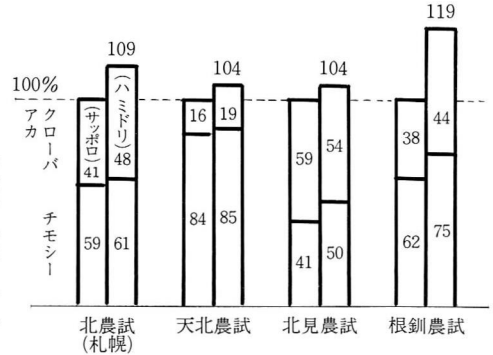
〔ハミドリ〕

(北海道奨励品種)
(OECD登録品種)

アカクロバ ハミドリの特性

- 道内各地から耐病・多収・永続性良好な母株を集め、選抜・検定を繰返し育成した優良品種。
- 早中生種で、茎葉の病害(茎割病・銹病)に強く、冬枯れ(菌核病)、ネマトーダにも強く、利用年限が長い。
- イネ科牧草との混播組合せ能力が優れ、クロバの混生割合が高い。
- 北海道・東北各地で極めて多収。

ハミドリは混播適応性が高い
(草種別乾物収量)



オーチャードグラス

Hayking

〔ヘイキング〕

(北海道準奨励品種)
(OECD登録申請中)

オーチャードグラス ヘイキングの特性

- ヘイキングはソビエトウクライナ系を育種母材とし、耐寒・耐病・多収を目標に育成した採草型晩生種。(キタミドリより出穂期が約2週間遅い、流通品種の中では最も晩生である)
- 基幹3H品種としてチモシー(ホクオウ)、アカクロバ(ハミドリ)との混播に適し、又アルファルファとの混播にも適する数少ない貴重なオーチャード品種。
- 多葉性で分けつ大、出穂茎数少なく又茎の硬化も遅い、葉色はやや淡緑で嗜好性高い、再生力にもすぐれ、兼用草地・放牧草地での利用性も高い。
- 耐病性・冬枯れ抵抗性が大。



アカクロバ・ハミドリ



チモシー

Hokuo

〔ホクオウ〕

(北海道奨励品種)
(OECD登録品種)

チモシー ホクオウの特性

- 早生品種で初期生育早く、特に2~3番草の再生が早い。
 - 造成初年目の収量が他品種と比較して期待できる。
 - 再生力が旺盛で、季節生産性が均一で採草利用は勿論放牧利用にも適する。
- 出穂茎数が多く、乾物率が高い。
 - 乾草を調製しやすく、乾草収量で優れている。
 - 育成牛の放牧等における増体効果が期待できる。
- 病害や凍寒害に強く、定着性永続性が良好。
 - 北海道・東北で最も多収な品種です。

ホクオウの多収性
(3在来種に対する乾物収量)

